

令和7年度

練馬区立八坂中学校 文化発表会



Do our best!

～十人十色の歌声で心に虹の橋を架けよう～

令和7年10月18日(土)

10:00 第一部 開始

13:10 第二部 開始

八坂中学校体育館

令和 7 年度文化発表会の開催に寄せて

校長

気候の良い芸術、文化に触れるにふさわしい季節になりました。今年も本校体育館を会場として、八坂中学校の一大行事「文化発表会」を開催します。

午前の部は、合唱コンクールです。舞台上上がるクラスが心をつにして歌い上げます。今日まで時間をかけ、積み上げてきたものをすべて出し切り、会場全体を包み込むような素晴らしい合唱を披露します。午後の第二部では、各部活動の日ごろの練習や取組の成果のほか、海外派遣生の発表が行われます。今日に向けて準備し、練習を重ねてきた成果を存分に発揮してくれることでしょう。

地域の皆様、保護者の皆様には、ぜひご来校いただき、生徒たちの表現、演奏や発表の様子をご参観くださいますよう、お願い申し上げます。

Do our best

文化発表会実行委員長

文化発表会のために、どのクラスもたくさんの時間をかけて練習に取り組んできました。うまくいかない日もあったと思いますが、仲間と協力し合い、少しずつ音を重ねていく中でクラスの団結力も高まったのではないのでしょうか。

本番では、採点結果だけでなく、クラスの皆で「心をつにして歌うこと」の喜びや達成感を大切にしてください。今年のスローガンにもある「Do our best!」を胸にそれぞれの思いをこめた素晴らしいハーモニーを響かせましょう。

一致団結した素敵な舞台を

生徒会長

全身全霊で練習を重ね、切磋琢磨し、応援と熱意を持ってクラスが一体となって臨んだ運動会。そして次は、素晴らしく素敵な指揮、伴奏、歌声とともに会場が一体となる文化発表会が今年も始まります。どのクラスもこの発表会のために心血を注いで努力してきました。この努力や仲間と試行錯誤しながら紡いできた時間は、文化発表会という輝きを灯してくれる華ときっとなるはずです。皆さんが日頃の練習で積み上げてきたものを存分に発揮しましょう。

練馬区立八坂中学校 校歌 ～若きいのち～

作詞 中山 崇 作曲 柳沢 剛

一、遠く未来を望み集える若きいのち
岩をさく大樹のごとく自立のこころ学ばん
みどりの風かおる校庭
そびゆるましろの校舎
空を飛ぶおおとりのごとく
雄飛のつばさ鍛えん
おお われら八坂中

二、高く理想をかかげあふるる若きいのち
身はひろく心ゆたかに文化の泉汲まん
野末に霞む富士の嶺
こぶしの花咲くところ
もろともに力協せて
平和の園を築かん
おお われら八坂中

開会式 挨拶 (10 : 00)
副実行委員挨拶
審査方法について
校歌斉唱

—— 合唱コンクールの部 ——

1 年生の部 (10 : 15)

課題曲 カリブ夢の旅

	自由曲	課題曲	自由曲	紹介者
2 組	マイバラード			
1 組	ハートのアンテナ			

2 年生の部 (10 : 45)

課題曲 輝くために

	自由曲	課題曲	自由曲	紹介者
1 組	花になれ			
2 組	地球星歌～笑顔のために～			
3 組	ハナミズキ			

3 年生の部 (11 : 30)

課題曲 あなたへー旅立ちに寄せるメッセージ

	自由曲	課題曲	自由曲	紹介者
1 組	手紙 ～拝啓 十五の君へ～			
2 組	証			

外部審査員講評

—— 舞台発表の部 ——

(13 : 10)

吹奏楽部 演奏	北の鳥たち（令和 7 年度吹奏楽コンクール銀賞 授賞曲） 銀河鉄道 9 9 9 フレンド・ライク・ミー（アラジンより） 世界はあなたに笑いかけている Highlights from FROZN（アナと雪の女王より）
科学部 発表	Science ちゃんとモンキーハンティング
海外派遣 発表	夏休みに練馬区主宰のオーストラリアへの海外派遣に 学校を代表して参加しました。その報告です。

閉会式 講評
合唱コンクール審査結果発表
表彰
実行委員長より

審査項目

①音量	②ハーモニー・音程	③表現	④まとまり・態度
歌詞が明瞭で声量が十分であるか。 地声で怒鳴ることなく響きのある発声で歌っているか。	音程がきちんととれているか。 パートのバランスがとれているか。 各パートが調和し、美しいハーモニーになっているか。	曲のイメージをとらえ、内容を表現しているか。 強弱や速度など、曲想が工夫されているか。 歌・指揮・伴奏が一体となって曲を仕上げているか。	入退場のマナーは適切か。 鑑賞中のマナー（服装を含む）は適切か。

審査員

校 長		副校長		音楽科	
音楽科		外部審査委員			

生徒審査員

1-1		2-1		3-1	
1-2		2-2		3-2	
		2-3			

文化発表会実行委員

1-1		2-1		3-1	
1-2		2-2		3-2	
		2-3			